

広報掲載予定原稿（H20年5月1日号）

今年は「地域分権」元年

自分たちのまちは自分たちでつくろう

「自分たちのまちは自分たちでつくろう」を合言葉に、皆さんが自主的・自立的に地域内の共通課題の解決を図り、市との協働でまちづくりを進めていこうとする「地域分権」。その実現のため、各校区で「地域コミュニティ推進協議会」が設立され、議論が重ねられた結果、昨年12月にすべての校区から具体的な予算提案がなされました。その後、市が提案内容の検討・調整を行って予算案を確定させ、3月の定例市議会に上程、厳正な審議の後、予算化されました。

地域の特色が見える？

校区別提案事業

（別紙：提案事業一覧表＝資料1＝）

12月に各地域から予算提案された事業の総額は6851万4千円（55件）でしたが、検討・調整を行った結果、6852万3千円（58件）になりました（提案上限額は7112万5千円）。これは、予算査定の段階で金額を見直したり、担当課の割り振りによって1提案を2事業に分けたりしたためです（各校区別の提案額については表のとおり）。

校区別提案額等について

小学校名	人口(人)	提案枠(千円)	提案額(千円)	予算額(千円)
池田小学校	12,074	6,875	6,875	6,558
細河小学校	5,197	6,000	6,000	6,000
秦野小学校	13,725	7,000	6,980	7,000
北豊島小学校	12,725	6,875	6,875	6,875
呉服小学校	10,896	6,625	6,624	6,625
石橋小学校	8,725	6,375	6,370	6,375
五月丘小学校	6,828	6,125	6,120	6,125
石橋南小学校	7,276	6,250	6,250	6,250
緑丘小学校	8,129	6,375	4,400	4,618
神田小学校	9,363	6,500	6,500	6,500
伏尾台小学校	6,182	6,125	5,520	5,597
合 計		71,125	68,514	68,523

予算提案額配分計算式：600万円（5,000人まで）+12.5万円（1,000人ごと）

人口は平成19年4月2日現在。

主な事業内容について

事業種別	事業名	予算額(千円)	提案件数
安全・安心	街路灯強化事業	18,791	8
	防犯カメラ設置事業	5,808	1
	道路安全対策事業	3,599	1
	安全パトロール実施事業	2,625	2
	AED設置事業	1,860	3
	小計(12事業) (36.4%)	41,792 (61.0%)	26(11校)
福祉	休憩施設設置事業	1,485	2
	高齢者等配食サービス補助事業	738	1
	小計(2事業) (6.1%)	2,223 (3.2%)	3(3校)
環境	校庭芝生化事業	700	1
	緑化事業	600	1
	小計(3事業) (9.1%)	1,392 (2.0%)	3(2校)
広報	地域掲示板設置事業	4,250	4
	地域ギャラリー設置事業	3,125	1
	コミュニティ紙等発行事業	2,215	6
	小計(4事業) (12.1%)	9,800 (14.3%)	12(8校)
コミュニティ振興	地域イベント支援事業	3,580	3
	観光振興構想策定事業	1,000	1
	小計(8事業) (24.2%)	6,301 (9.2%)	10(5校)
その他	公園バスケットコート整備事業	3,120	1
	旧北豊島公民館地域活用事業	2,880	1
	小計(4事業) (12.1%)	7,015 (10.3%)	4(3校)
合 計	(33事業) (100.0%)	68,523 (100.0%)	58(11校)

「安全・安心」が一番の課題 内容別提案事業

表をご覧いただくと分かるように、提案事業を内容別で見ると、「安全・安心」に関するものが12事業、4179万2千円と最も多く、全提案額の6割を占めています。また、地域別に見ても全校区から何らかの事業が提案されており、「安全・安心」への関心が非常に高いことが伺えます。

続いて、コミュニティ紙等発行事業など「広報」に関するものが980万円で、全提案額の14%を占めています。広報活動については、重要視しているところが多く、既に事務費（ ）を利用してコミュニティ紙やチラシなどを作成・配布した校区もあります。

事務費...地域コミュニティ推進協議会に、運営上必要な庶務的な経費のほか、地域住民への啓発や周知に掛かる経費として、交付金として最高10万円を支給するもの。

事業実施と平行してさらに議論を 来年度に向けて始動開始

今後は随時、事業を実施していきませんが、予算化はされたものの、事業によっては地域における具体的な執行計画の提出を求め、「適切な運用が行われると認められなければ執行しない」と条件をつけたものもあります。また、より効果的な事業展開となるよう、提案後も議論を続けている校区もあります。さら

には来年度の予算提案事業についても、検討を始めようとしているところもあります。

地域コミュニティ推進協議会の活動に参加したい方は、各地域の協議会会長（表参照）へご連絡ください。また、それぞれの取り組みや事業の進み具合などについては、今後も本誌をはじめ市ホームページなどでお知らせします。

各校区協議会会長一覧

校 区	会 長
池 田	安田晴彦（Tel.752・9783）
細 河	秦 孝雄（Tel.754・0855）
秦 野	正田吉信（Tel.753・0528）
北豊島	川口和則（Tel.762・2865）
呉 服	林 克彦（Tel.751・2665）
石 橋	中村彰男（Tel.762・7641）
五月丘	野口 実（Tel.751・0239）
石橋南	徳田宗義（Tel.761・9523）
緑 丘	梶田良治（Tel.761・9065）
神 田	高木正彬（Tel.752・1779）
伏尾台	倉田 晃（Tel.753・7139）

問い合わせは政策推進課（ 7 5 4 ・ 6 2 1 3 ）